

Ⅱ 保育士キャリアアップモデル

キャリアアップモデル作成の考え方

1 国の動向

国は、平成 29 年度からの保育士等の処遇改善に必要となる研修体系を示した。研修は 7 分野あり、月額 4 万円の処遇改善を受けるには 4 分野の受講が求められている。研修時間は 1 分野につき、15 時間程度とされており、2～3 日間での受講が想定されている。また、受講の対象として 3 年以上の経験がある保育士が想定されている。

2 保育所等実態調査

本県が実施した保育所等実態調査からは、経験年数「3 年以上 7 年未満」の保育士について、経験年数「3 年未満」、「7 年以上」の保育士に比べ次のような実態がある。

- ・賃金が「低い」と感じる割合が高い。
- ・1 週間の労働時間について、「50 時間」以上の割合が高い。
- ・現在の施設で継続勤務を希望する割合が低い。
- ・施設外研修、自己研鑽のための施設外研修を受講した割合が低い。
- ・職場等における満足度の項目のうち、休暇制度について、やや不満、不満、とても不満の割合の合計が高い。

3 モデル作成の考え方

- 保育所等実態調査からは、経験年数「3 年以上 7 年未満」の保育士の負担感が強いことがうかがえる。これを踏まえると、「3 年以上 7 年未満」の保育士が複数分野の研修を短期間に受講することは、さらに負担感が強まることが懸念される。
- 保育関係団体や市町により保育士向けの研修が県内各地域で行われており、研修の内容によっては、国が新たに示した研修に位置付けられるものが多いことから、これら既存の研修を活用することにより、研修受講者の負担軽減が図られる。
- 経験年数が 3 年未満の保育士についても、将来的に処遇改善に繋がる研修を段階的に受講していくことにより、働きがいを持って専門性を高めていくことが期待できる。
- こうしたことから、県では、国が受講を想定している経験年数より早期に受講を開始し、また、段階的かつ計画的に研修を受講することによりキャリアアップしていくためのモデルを作成した。

